

中
高

中高合同入学式

立山の桜が満開となった4月8日（水）、長崎東中学校第23回、長崎東高等学校第81回入学式が挙行されました。今年度は、中学生105名、高校生280名の生徒が、希望に満ちた表情で新たな一歩を踏み出しました。式では、田川校長による温かい歓迎の言葉や、新入生代表による力強い誓いの言葉が述べられ、会場は和やかな雰囲気になりました。これから始まる「ひがし」の学校生活を通して、新入生一人一人が校是「ともによき世をつくる」の理念を大切にしながら、多くの学びや出会いに恵まれ、仲間とともに自らの可能性を伸ばし、心豊かに成長していくことを心より願っています。



よろしくお願ひします



令和8年度 新転任教職員

高校	御塚 信一郎（副校長・国語）	福田 ゆり子（教頭・英語）
	岡本 裕加（国語）	本田 美春（数学）
	益田 雄司（国語）	郷野 真奈美（地理）
		池下 昭洋（数学）
中学	萩原 広太（数学）	光富 正彦（国語）
	馬場 美沙（理科）	吉武 亮太（数学）
		柴田 由季（養護）
事務	山崎 賢一（事務局長）	井上 悠希（主事）

3校合同海外語学研修

長崎東・諫早・佐世保北の3校合同で、3月25日～4月4日にかけて、(ベトナムは3月27日～4月2日)海外語学研修が行われました。オーストラリアのブリスベンには33名、カナダのバンクーバーには26名、ベトナムのハノイには3名、中学2年生・高校1年生が参加しました。学校を越え、同じような期待と不安を持つ生徒同士でお互いに刺激しあい、普段の学校生活から離れて挑戦する得難い機会となりました。それぞれのプログラムにおいて、現地の自然・歴史・文化に触れる体験や現地学生との交流活動を行いました。日本の文化についても紹介する場面があり、事前に準備を行いしっかりと伝えることができたようです。生徒にとって実りのある研修となりました。

生徒支援部より

さあ、令和8年度がスタートしました。新入生の皆さん！そしてそれぞれの学年に進級したみなさん！良いスタートが出来たでしょうか？新しい環境に戸惑っている人たちもいるでしょう。あまり難しく考えず、まずは新しい環境を楽しんでみてください。どうすれば良いのかわからない場合は、せっかく学年が進んだので「心機一転」何かにチャレンジするのはどうでしょう？成功したら儲けもの。失敗しても必ず自分にプラスになって返ってきます。「今の自分のやり方では全く通用しない」と感じたり、そこから生まれる無力感などが古い自分を壊し新しい自分を創るきっかけになります。君たちは今、青春真っただ中ですよ。私は失敗のない青春は青春という名に値しないと常々思っています。恐れず様々な挑戦をしてください。長崎東にはそんな挑戦をサポートしてくれる仲間や先生方がたくさんいます。実は私も新任教師の頃から大きな夢を持って今までチャレンジしてきました。そしてこれからもその夢の実現に向けてチャレンジし続けます。お互い頑張りましょう！

保護者の皆様におかれましては、お子様の様子を見ていただき、気づきや悩みなどが出来た場合は、学校にご相談いただければと思います。本校にはスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーもおりますので、お子様や保護者等の相談に幅広く対応していきます。

WWL 事業について



長崎東中高は、SGHの後継事業「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」において、文部科学省より拠点校に指定されています。「世界の平和と共生」に貢献するイノベティブなグローバル人材の育成を目指し、すべての生徒を対象に、先鋭的な教育活動を展開します。具体的には、国内外の大学・企業・官公庁・NPO等への多様なフィールドワークを展開し、質の高い深い学びを実践します。

～WWLとは？（文科省HPより）～

国際社会に貢献するイノベティブなグローバル人材を育成するため、高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生へより高度な学びを提供する仕組みを構築するとともに、テーマ等を通じた高校生国際平和会議の開催や、高等学校のアドバンスト・ラーニング・ネットワーク（高度な学びのネットワーク）を形成する取組であり、全国で33校が指定されています。

4月9日から13日の3日間、新入生研修である東志行が行われました。東中の行事や一日の流れの説明を聞いたり、3年生から牛乳やパン注文について優しく教えてもらったりしながら、少しずつ学校生活に慣れていきました。班ごとの自己紹介や他己紹介、班対抗の新聞紙タワー作りなどを通して、少しずつ緊張がほぐれ、笑顔が増えていきました。一つひとつの活動に熱心に取り組み、最後は「東でがんばりたいこと」というテーマの作文を書き、今後の決意を固めました。縁あって23回生となった105名が、これからお互い思いやりを持ちつつ、切磋琢磨しあい、成長していくことを期待しています。



4月9日（木）から13日（月）までの3日間、高校1年生は東志行を実施しました。期間中は、副校長先生や各分掌主任の先生方による講話のほか、学級での融和活動やグループワークなどに取り組み、生徒たちは時には笑顔で、時には真剣な表情で活動に臨んでいました。最終日には、各学級が「学級スローガン」と「目指す学級像」をポスターを用いて発表し、どの学級からも一丸となって「共創」する姿が感じられました。初めは互いに緊張した様子で交流していましたが、東志行が終わるころには楽しそうに笑い合う姿が見られ、その成長が印象的でした。



主な行事 5月

校長より

挑戦の火種を校風の力に

校長 田川 耕太郎

令和8年度が幕を開けました。これまで、折に触れ「東らしさ」や東の「校風」について話をしてきました。

昨年度、本校第3回卒業生であり、一昨年ノーベル平和賞を受賞された日本被団協代表委員の田中熙巳様のご講演を拝聴した祭、当時の東高の校風についてお尋ねしたところ、「『梅はうめ、桜はさくら』という言葉の通り、個性を尊重する自由闊達な校風があった」と語っていただきました。

3月24日の終業式では、「令和8年度は校風による教育を推進します」と話をしました。校風は風のように目には見えません。しかし、確かに存在し、人を育てる力を持っています。一人ひとりの努力と挑戦が校風を磨き、磨かれた校風がさらに個人の成長を後押しする——そのような好循環を、この令和8年度はつくっていきたいと話しました。さらに、「4月8日の始業式で、このステージ上から自らの目標や挑戦について宣言したい人は、校長室へ来てください」と投げかけました。すると4名もの生徒が校長室に来てくれました。その4名とは**中学3年 松本遥太君、高校2年 宮地勇氣君、高校3年 迫田耀子さん、高校3年 田中勇登君**でした。始業式当日、4名は全校生徒を前に、自分の目標や挑戦について堂々と語ってくれました。ステージの上に立つことはただでさえ緊張します。まして自分の目標や挑戦を口に出して宣言することは、とてつもなく勇気のいることです。4名の生徒が発表した後は、拍手がしばらく鳴り止みませんでした。4名に対する心からのリスペクトだと感じました。4名の志は火種となって、この東に大きな活力をもたらし、よりよい「校風」に築く原動力になることでしょう。

折しも今年は、西山校舎から立山へ移転してきて50周年という大きな節目の年にあたります。長崎東の歴史と伝統の重みを改めて感じるための一環として、今年度の体育祭は立山移転五十周年記念として盛大に開催します。秋の文化祭も記念行事とし、夕暮れには花火を打ち上げ、生徒たちの青春を鮮やかに彩ることにしています。一人ひとりの挑戦が「東」の校風を磨きます。令和8年度を共に誇りある1年にしていましょ。

日 曜	主な行事
7 木	第1回PTA常任委員会 探究スタディツアー報告会
8 金	授業参観・学年PTA(中2)
9 土	全統模試(高全)
11 月	教育実習I期(～29日) いじめ調査 歯科検診(中1、中3-1・2)
12 火	全国学力調査(中3英語話すこと) 尿検査(2次) 前期専門委員会(高)
13 水	新体力テスト
14 木	内科検診(中2)
15 金	全校集会・受納式 内科検診(高2)
18 月	歯科検診(中2、中3-3)
19 火	ひがしチャレンジデー(中高)
20 水	高総体前45分授業(～29日) 歯科検診(高1) 立山移転50周年記念懸賞論文締切
21 木	耳鼻科検診(中) 内科検診(高3)
22 金	長崎東安全の日 水の授業 中学校学校説明会 長崎ピースプレナー(高3代表～24日)
23 土	県総文(吹奏楽連合音楽会)
25 月	懸賞論文1次審査 第1回高校学校説明会
26 火	花プランター作り
27 水	中高地区別集会 歯科検診(高3)
28 木	尿検査(2次予備日) 内科検診(中3) 眼科検診(高1)
29 金	授業参観・学年PTA(中3)